

石狩市小中連携・一貫教育基本方針

小中一貫教育の目的

石狩市教育プランには、6つの基本方針があります。その1つに「学びをつなぐ学校づくり」が位置付けられています。具体的には、「学びの段階間の連携と接続」「安心して学習活動を行う環境づくり」等が掲げられています。本市の児童生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成や中1ギャップへの対応等、教育の質を向上させることは、教育行政と学校現場に課せられた喫緊の課題です。本市における教育の諸課題を解決する有効な手法として、小中連携・一貫教育を推進していきます。なお、本市においては、へき地・複式校、大規模校、特認校、義務教育学校と様々な学校を設置しています。また、1小1中から4小2中まで多様な形で連携を進めています。そのため、各地区に合わせた連携教育や一貫教育を進めていきます。

小中一貫教育でめざす内容

小中連携・一貫教育の内容を「つながる」「のびる」「ひろがる」をキーワードとして、8つの視点で実施します。この視点をもって中学校区・連携地区の規模に応じて組織を編制します。ただし、この他にも、連携できる内容があれば推進します。

子どもアンケート まとめ

1、未来の新しい学校は、どんな学校になることを期待しますか

- ① 仲良く
- ① 元気いっぱい
- ② 笑顔あふれる
- ② 何事にも挑戦する
- ③ やさしさあふれる
- ③ 思いやりのある
- ③ いじめのない
- ③ 明るく楽しい
- ③ 夢が持てる
- ③ 自然豊かで花いっぱい
- ③ きれいな
- ③ 夢に向かってつき進む
- ③ しあわせな学校生活ができる
- ③ 未来に向かってがんばる学校
- ③ あいさついっぱい
- ③ 体育館がでかい

キーワード

仲良く	挑戦
元気	夢
笑顔	自然
優しい	きれい
楽しい	幸せ
明るい	未来

2、未来の浜益は、どんな場所になってほしいですか。

- ① 自然が豊か
- ② 豊かで栄えている
- ② 落ち着く故郷
- ② 自然を大切にする
- ③ 楽しく遊べる
- ③ 仲が良い
- ③ 笑顔いっぱい
- ③ 犯罪がなく安全な
- ③ 果物がたくさんとれる
- ③ 建物がきれいな
- ③ 港がきれいな

キーワード

自然	果物
豊か	きれい
栄えている	笑顔
遊べる	安全
仲が良い	

保護者・地域の願いまとめ

1、未来の新しい学校で育つ子どもたちがどんな力を身につけて、大人になってもらいたいと思いますか。

- ① 思いやりのある
- ① 精神的なたくましさ
- ① 心の強い
- ② 学力のある
- ② 挑戦する
- ② 可能性を試す・広げる
- ③ コミュニケーション力のある
- ③ 最後までやり遂げる
- ③ 困難に立ち向かう
- ④ 夢に向かって努力する
- ④ 協調性のある
- ④ 発信力のある
- ④ 故郷にほこりを持つ
- ④ 平和を愛する
- ⑤ 自然 共生できる ルールを守る 希望 夢 絆 つながり
差別 善悪 体力 英語力

キーワード

思いやり	やり遂げる
たくましい	夢・希望
強い	協調性
コミュカ	発信力
挑戦	学力
可能性	故郷

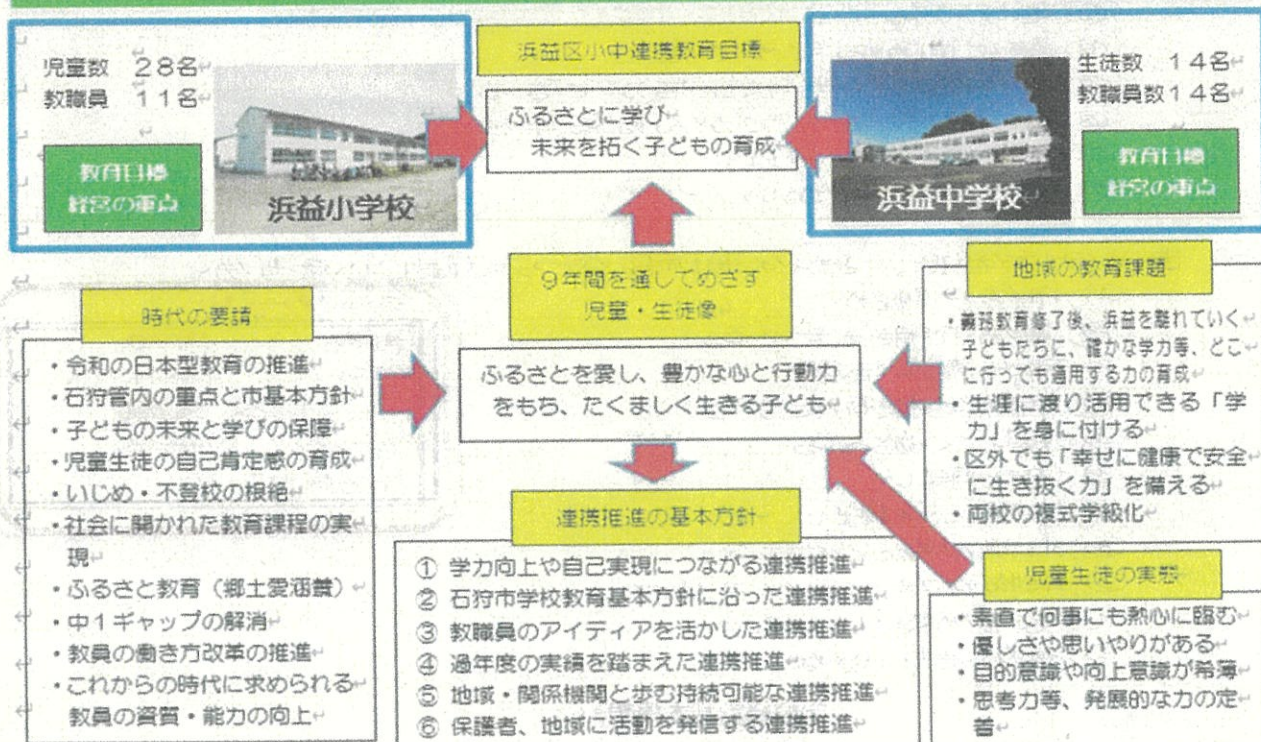
2、新しい学校が未来に向かってどんな学校になってほしいと思いますか。

- ① 故郷の自然を生かす教育をする
- ② 地域と協力して教育する
- ② ひとりに一人の個性を伸長する
- ③ 多様な人と関わることができる
- ③ 特色ある教育の充実する
- ③ 元気や体力のある
- ④ 確かな学力をつける
- ④ 夢や希望のあふれる
- ④ 笑顔いっぱい
- ⑤ ICTや図書を地域住民が活用できる学校

キーワード

自然	特色ある教育
故郷	元気
地域と協力	体力
個性の伸長	学力
多様な人と関わり	夢
	希望
	笑顔

令和6年度 石狩市浜益区 小中連携グランドデザイン



I

「浜益学園」開校にあたって

【沿革と歴史】

浜益区における学校教育は、明治 11 年（1878 年）に浜益教育所、浜益小（旧茂生小）の開校に始まる。明治時代には地区ごとに小学校があったが、昭和 40 年ころから少しずつ統廃合が行われ、平成 11 年に浜益北部小、浜益中央小、黄金小の 3 校を統合し、区内唯一の浜益小学校が開校する。一方、中学校は、新学制実施により昭和 22 年に浜益小学校に浜益中学校を併置し、開校と同時に各小学校に中学校を併置した。昭和 26 年に浜益中学校と黄金中学校を統合時に、全ての中学校を浜益中学校の分校として位置づけた。その後、各分校を昭和 40 年から浜益中学校と幌中学校に統合を進め、最終的には、平成 11 年に幌中学校を浜益中学校に統合し 1 小 1 中となった。

浜益は、豊かな自然の中で第 1 次産業を中心に栄えてきた地域である。人にやさしく、おおらかな住民による浜益ならではの暮らしがある。その中で、子ども達に地域の未来を託し、地域の発展と幸せに生きることを学校教育の目標に据えた先人の強い意志を継承しつつ、地域と共に未来の浜益を創る教育を創造していく決意である。

「石狩市立浜益学園」は、石狩市 2 校目の義務教育学校として、次に掲げる基本理念や教育目標のもと、浜益における自然と地域の教育力を活かした一貫教育により新たな歴史を創る。

【これからの学園教育】

将来の予測が困難な現代社会において、これからの時代を生きる子どもたちには、大きな変化や予測できない出来事が続いている中でも、たくましく生き抜く力が求められている。現在は、生産年齢層の減少、グローバル化や情報化の加速、そして技術の進歩によって、社会や雇用の仕組みが大きく変わる途中にある。そして、「超スマート社会（Society5.0）」と呼ばれる新しい時代が訪れようとしている。このような社会を生きる子どもたちには、「自立した人間」として、主体的に考え、多様な人たちと協力し、新しい価値を生み出す力が求められる。結果を出すためには、ただ適応するだけではなく、主体的に関わり、社会に貢献していく姿勢が必要である。そのため、予測が難しい状況の中で、問題の本質を捉え、自分で課題を見つけて解決を目指す力や様々な情報を組み合わせる答えを考え導き出す力も重要である。

これからの浜益学園の教育では、子ども達が主体的に自立した一人の人間として成長するために、浜益の自然とふるさとを愛し、地域での学びに誇りと満足感を持たせることが大切である。そして、教育の「不易」と「流行」を適確にとらえ、家庭、地域、学校が連携して自ら未来を切り拓く人として成長できるよう質の高い教育を推進する。

基本理念

「子どもの幸せ、保護者の幸せ、教師の幸せ、地域の幸せを創る」

変化の激しい時代に生きる子どもたちが、「やさしさ」・「かしこさ」・「たくましさ」を身につけ、夢と希望を持ち未来社会の創り手に成長し、自らの手で幸せに生き抜く力を、学校が中核となって浜益の地域全体で創る教育を実現する。

→地域とともに教育活動全体を通じ「幸せ」いっぱいの学校を創る

ふるさとへの誇りと愛着を持ち、夢に向かって 挑戦し、未来を拓く人を育てる

- やさしく 思いやりのある人 (人を大切にする力) <仁>
- 進んで学び よく考える人 (自分の考えを持つ力) <知>
- 自信をもって 素直に表現する人(自分を表現する力) <表>
- 自ら挑戦し 根気よくやり抜く人 (挑戦しやり抜く力) <志>

【教育目標制定の趣旨】

学校は、子どもたちが明るく瞳を輝かせ生き生きと学び、笑顔があふれ、楽しく生活でき、未来への夢と希望に満ちた場所であってほしい。

浜益で学ぶすべての子どもたちが、ふるさとの自然の中で地域の人に愛され、未来の社会を夢に向かって「幸せ」に「たくましく生き抜く」ために必要な資質・能力を育むことを目的とする。

人や自然への「やさしさと思いやりの心」、夢を実現させる「確かな学力」、多様な人々と協働し共に高め合う「創造性」、健康でたくましい身体と「根気強くやり抜く心」、ふるさとを愛する豊かな「人間性」を育んでいくことを願いとして制定する。

めざす姿

学 校 像

- 子どもたちが明るく活力に満ち、優しさと思いやりの心がいっぱいの学校
- 未来社会に必要な資質・能力を育成し、未来の夢や希望にあふれる学校
- 一人一人の個性を伸ばし、元気と笑顔がいっぱいの学校
- 浜益の自然や人を活かし、地域と協働する信頼と幸せにあふれる学校

子 ども 像

- 自分の夢や未来に向かって、進んで学び、最後までやり抜く子
- やさしい心を持ち、思いやりの言動ができる子
- 自分に自信を持ち、考えをしっかりと伝えることができる子
- ふるさと浜益に誇りを持ち、自然や人を大切にする子

教 職 員 像

- 教育への強い情熱と使命感、倫理観を常に持ち続け幸せに働く教職員
- 教育の専門家として実践的指導力等、確かな力量を持ち学び続ける教職員
- 子どもへの深い愛情を持ち、人間的魅力にあふれ、信頼される教職員
- 家庭や地域との連携・協働体制を築き、主体的に課題解決に取り組む教職員

地 域 像

- ふるさと浜益を愛し、人や子どもを大切にする、心優しい地域
- 生涯にわたり生き生きと働き、浜益の未来の幸せに貢献する人が溢れる地域
- 義務教育終了までに、未来を健康でたくましく生き抜く力を育成する地域
- 子どもの夢や希望を大切に、教育活動を協働し支援する地域